

事務事業名	県外スポーツ大会出場支援事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12343					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦					
			所属担当	社会体育担当	担当者名	井上佐江子					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 05	目 01	細目 020	細々目 06	
政策	26	スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	40	スポーツ・レクリエーション活動の推進									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	南アルプス市県外スポーツ大会出場費補助金交付要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市体育協会加盟団体が、県予選を優勝又は準優勝の成績を納め、県代表として県外の大会に出場する対象経費の一般成人1/4、スポーツ少年団1/2の割合により補助金を交付する。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				大会出場補助金		1,541					
							計		1,541		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	12団体へ16件の補助を行った。
	26年度活動予定	県内の予選を勝ち進み県外大会へ出場する団体に対し、申請を審査して補助を行う。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 市体育協会加盟団体	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	県代表として上位大会へ出場する際の経費負担がへり、大会で活躍することができる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民の競技スポーツが盛んになる。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	県外大会出場団体数	団体
	イ	県外大会出場者数	人
	ウ		
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	市体育協会加盟団体数	団体
	イ	市体育協会加入者数	人
	ウ		
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	全国大会等入賞団体数	団体
	イ	全国大会等入賞者数	人
	ウ		
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	県体育祭り出場者対前年比率	率
	イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			千円							
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,305	1,200	1,541	1,170	1,170	1,170	
		事業費計(A)	千円	1,305	1,200	1,541	1,170	1,170	1,170	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	200	200	60	60	60	60	
		人件費計(B)	千円	910	910	273	273	273	273	0
		(A)+(B)	千円	2,215	2,110	1,814	1,443	1,443	1,443	0
	活動指標	ア 団体		11.0	13.0	17.0	20.0	20.0	20.0	
		イ 人		157.0	120.0	201.0	250.0	250.0	250.0	250.0
		ウ								
	対象指標	ア 団体		27.0	30.0	27.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		イ 人		4,873.0	5,500.0	4,568.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0
		ウ								
	成果指標	ア 団体		0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		イ 人		0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		ウ								
	上位成果指標	ア 率		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧町村時代から市民が県外のスポーツ大会へ出場する際、費用の一部を補助しており、合併後補助基準を統一した要綱を設け、スポーツ活動環境や団体・個人の意欲向上を図っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	以前は様々な主催者による大会への参加を助成していたが、現在は、日本体育協会加盟団体主催大会に限定している。市体育協会加盟団体を対象としており、来年度以降市体育協会内の事業に移行するか検討中。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	競技者から「補助があるのは、活動の励みになる」

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助金の交付対象を市体育協会加盟団体が、県連盟以上の主催による大会に出場する場合とし、費用についても細かく規程した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	宿泊費一泊料金の上限を9,500円から8,500円に引き下げた。また、内規の見直しを行い車両借上げ料なども乗車率を勘案し明確に規定を定めた。平成26年度からは、予算の範囲内で補助を行うこととした。

事務事業名	県外スポーツ大会出場支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市のスポーツ活動の活性化、スポーツに取り組む意欲の向上を図り、ひいてはスポーツによる市のイメージアップにつながっているが、補助金交付事務について市体育協会への移管を検討する。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 体育協会の事業費(加盟団体負担金)等の中で行うか検討中。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 何に対してどのように補助を行うのか、金額にどのように公平性を持たせるのか、方法はいろいろ考えられる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 補助あってもなくてもスポーツを行う者はいつも上位を目指している。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民の負担が大きくなり、活動意欲や出場機会が減退する。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市のスポーツ振興に反する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助率の引き下げ、補助内容の見直し等削減余地はあるが今年度、すでに見直しをかけたのでこれ以上の削減は今のところ難しい。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 交付事務を教育委員会から体育協会への移管を検討。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市体育協会加盟者誰もが競技に参加でき、対象の県外大会へ出場する際は、補助を受けられる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県内の大会を勝ち抜いて関東大会、全国大会へ出場する個人・団体への補助金であり、最低限の補助と考えている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 補助金実績報告を横証し、平成26年度から宿泊費の補助金を減額する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 特になし。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					